

参考文献

日本語の部（筆画順）

- 1、JACET（大学英語教育学会）SLA 研究会（2006）『文献からみる第二言語習得研究』開拓社
- 2、イーディス・ハーディング＝エッシュ フィリップ・ライリー著 山本雅代訳（2006）『バイリンガル・ファミリー 子どもをバイリンガルに育てようとする親のための手引き』明石書店
- 3、サリーP. スプリンガー・ゲオルク ドイチュ著、福井圀彦・河内十郎監訳（1997）『左の脳と右の脳』医学書院
- 4、ベーカー・コリン（1996）岡秀夫訳・編『バイリンガル教育と第二言語習得』大修館書店
- 5、七田真（1987）『0歳教育の秘密—0歳から6歳までは頭脳の爆発期—』栄光出版社
- 6、七田真（1997、2刷）『全脳時代』総合法令
- 7、七田真（2001）『右脳活用式バイリンガル教育』アルク
- 8、七田真、七田厚（2004）『子どもの学力がグングン伸びる!!七田式高速学習の秘密』実業之日本社
- 9、山本栄・松岡成明（1996）「VDT作業時の脳波変動と精神負荷評価」『臨床脳波 Vol. 33, No. 10』
- 10、山本雅代（1996）『バイリンガルはどのようにして言語を習得するのか』明石書店
- 11、大津由紀雄、坂本勉、乾敏郎、西光義弘、岡田伸夫（1998）『言語の科学 11 言語科学と関連領域』岩波書店
- 12、大石晴美『インプットからインテイクへの言語情報処理過程—言語の脳科学的視点より英語教育への応用—』
- 13、山口有美・山口晴久（2001）「脳波を用いた基礎的な学習課題解決プロセスの生体情報工学的研究」『岡山大学教育実践総合センター紀要 第1号』
- 14、木下和好（2001）『子どもをバイリンガルに育てる方法』ダイヤモンド社
- 15、井深大（1987）『0歳教育の最適時期』ごま書房
- 16、中山兼芳（2001）『児童英語教育を学ぶ人のために』世界思想社
- 17、石原務（1991）「F m θ 波の出現要因について」『臨床脳波 Vol. 33, No. 2』
- 18、田中由多加（1984. 3）「脳の機能と直観力」『早稲田社会科学研究 第28号』
- 19、広島大学 学部・附属学校共同研究機構研究紀要第33号（2005）「小学校英語教育の現状と課題」
- 20、伊藤千寿（2001）『中間言語と誤答分析—言語習得臨界期の年齢にある日本語話者の英語習得過程—』岩手大学英語教育論集
- 21、伊藤克敏（2005）『ことばの習得と喪失』勁草書房
- 22、西崎有多子（2009）『「小学校外国語活動（英語活動）」における指導者の現状と課題～学級担任が単独で行う授業に向けて～』東邦学誌第38巻第1号

- 23、佐藤滋 (2008) 『学問図鑑—言語脳科学への誘い』
- 24、佐野洋子、加藤正弘 (2001) 『脳が言葉を取り戻すとき 失語症のカルテから』 日本放送出版協会
- 25、李美静 (2006) 『中日二言語のバイリンガリズム』 風間書房
- 26、李宜蓉 (2004) 『バイリンガル教育適齢期の研究—日本の公立小学校英語教育を例に—』 中国文化大学日本語文学研究所碩士論文
- 27、河原俊昭 (2008) 『小学生に英語を教えるとは?—アジアと日本の教育現場から』 めこん
- 28、河原俊昭、川畑松晴 (2006) 『アジア・オセアニアの英語』 めこん
- 29、東昭二 (2000) 『バイリンガリズム—二言語併用はいかに可能か』 講談社
- 30、林桂子 (2004) 『外国語学習に影響を及ぼす親と子のコミュニケーション—外国語学習・認知能力・親子言語相互交渉—』 風間書房
- 31、岩田誠 (2005) 『臨床医が語る脳とコトバのはなし』 日本評論社
- 32、長谷川朋美 (2008) 『言語文化と日本語教育 2008年11月増刊特集号—第二言語習得・教育の研究最前線 2008年版:「第二言語習得における臨界期仮説・年齢要因—日本語を対象とした研究に向けて—」』
- 33、泉恵美子 (2007) 『小学校英語教育における担任の役割と指導者研修』 京都教育大学紀要 No. 110
- 34、品川嘉也 (1990) 『脳と創造性の謎』 大和書房
- 35、津本忠治 (1986) 『脳と発達—環境と脳の可塑性』 朝倉書店 p. 15
- 36、陳伯陶 (1994) 『脳と教育』 大新書局
- 37、荒井良 (1987) 『脳とからだ—情緒・ことば・運動』 社会思想社
- 38、亀井尚 (1985) 『脳を考える』 大修館書店
- 39、荻原洋 (2004) 『臨界期後の英語音声指導のあり方について』 富山大学教育学部紀要 No. 59
- 40、無藤隆 (1998) 『早期教育を考える』 日本放送出版協会
- 41、関口勝 (2007) 『アジア研究所・アジア研究シリーズ No. 65—アジアの文化、特に思想・宗教・言語の多様性の研究Ⅲ:「揺れる台湾政情—遠のく台湾の正名」』 亜細亜大学アジア研究所
- 42、嘉悦勲・内田熊男・須谷康一・井奥匡彦・花田雅憲・外池光雄 (1996) 「記憶想起と脳波 (第1報)」 『臨床脳波 Vol. 33, No. 10』
- 43、篠原佳年 (2003) 『「聴覚脳」耳を変えれば人生が変わる』 きこ書房
- 44、蘇佩怡 (2007) 『聴覚と言語学習』 淡江大学碩士論文

参考ホームページ

- 1、北海道新聞—小学校の英語必修化
<http://www5.hokkaido-np.co.jp/motto/20060520/>
- 2、英語教育リレーコラム 「新高校学習指導要領を読む」 (高校)
http://tb.sanseido.co.jp/english/column/relay_bc/20090209.html
- 3、調査結果から見えるもの
http://benesse.jp/berd/center/open/report/syo_eigo/2006/pdf/data_02.pdf

- 4、小学校英語の大切さ
http://benesse.jp/berd/center/open/report/syo_eigo/2006/pdf/data_04.pdf
- 5、小学校英語のこれまでの流れ
http://benesse.jp/berd/center/open/report/syo_eigo/2006/pdf/data_17.pdf#search='小学校英語 流れ'
- 6、小学生以前の英語学習の影響—東アジア高校英語教育GTEC調査2006から(1)
http://benesse.jp/berd/berd2010/center_report/data15.html
- 7、小学校英語早わかり事典&リンク集—公立小学校への英語導入の背景と経緯
https://www.seibido.co.jp/kids/know/know1-1_1_1.html
- 8、[朝鮮新報 2009. 6. 8]
<http://www1.korea-np.co.jp/sinboj/j-2009/03/0903j0608-00001.htm>
- 9、【海外の英語教育事情】英語をモノにしようとして奮闘する台湾の人々
<http://www.edvec.co.jp/home/research-institute/educative-info/overseas-info/7.html>
- 10、「英語が使える日本人」の育成のための行動計画
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryu/04042301/011.htm
- 11、中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 外国語専門部会（第9回）議事録・配付資料 [参考資料4-3] 1・小学校英語の必修化に関する背景・経緯について
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryu/05120501/008/001.htm
- 12、中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 外国語専門部会（第9回）議事録・配付資料 [参考資料4-3] 2・教育課程及び指導方法について
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryu/05120501/008/002.htm
- 13、中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 外国語専門部会（第9回）議事録・配付資料 [参考資料4-3] 4・成果と課題
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryu/05120501/008/004.htm
- 14、新世紀へ 民族教育を歩く—「三つ目」の意味
<http://www1.korea-np.co.jp/sinboj/sinboj2001/1/0122/53.htm>
- 15、Benesse 教育情報サイト—小学校英語はどこへ向かうのか（5）世界の英語教育の動向[英語レポート]
<http://benesse.jp/blog/20080226/p1.html>
- 16、Benesse 教育情報サイト—急増する「ALT」の質は大丈夫？
<http://benesse.jp/blog/20091001/p4.html>
- 17、脳波 <http://www.fukuchi-clinic.com/ga/be/2008/be040.htm>
- 18、「脳波」と「事象関連電位」<http://www2f.biglobe.ne.jp/~yasuq/eeg.htm#eeg>
- 19、脳波の発生機構について
<http://www2.oninet.ne.jp/ts0905/seminar/eeg1.htm>

- 20、Yahoo!百科事典—野生児
<http://100.yahoo.co.jp/detail/%E9%87%8E%E7%94%9F%E5%85%90/>
- 21、Yahoo!百科事典—脳波
<http://100.yahoo.co.jp/detail/%E8%84%B3%E6%B3%A2/>
- 22、早期英語教育の必要性とバイリンガルに育てる5つのメリット
<http://www.etime-japan.com/inf01.html>
- 23、[海外の英語教育事情] 混迷する台湾英語教育事情
<http://www.edvec.co.jp/home/research-institute/educative-info/overseas-info/11.html>
- 24、[海外の英語教育事情] アジアの英語教育熱と日本の英語教育の差はこんなに大きい！
<http://www.edvec.co.jp/home/research-institute/educative-info/overseas-info/12.html>
- 25、こどものためのバイリンガル教育
<http://www.sweetnet.com/bilingual.htm>
- 26、『早期教育の落とし穴—認知神経科学的見地より—』信州大学人文社会科学研究会 <http://hdl.handle.net/10091/1804>
- 27、研究終了報告書—研究課題「言語の脳機能に基づく獲得メカニズムの解明」
http://www.jst.go.jp/kisoken/crest/report/sh_heisei15/gakusyu/sakai.pdf#search='研究課題「言語の脳機能に基づく'
- 28、小学校における英語教育について（外国語専門部会における審議の状況）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/015/siryo/06032708/003.pdf#search='小学校における英語教育について アジアの非英語圏'
- 29、元山純 脳の発生メカニズムとその破綻による疾患
<http://www.brain.riken.jp/bsi-news/bsinews32/no32/special.html>
- 30、池中一裕『脳機能発現のための偉大な脇役—グリア細胞—』
http://www.orion.ac.jp/data/main.html/oshirase/syutupan/okazaki_2002_07/okazaki_08pdf/okazaki_08_5.pdf#search='池中一裕『脳機能発現のための偉大な脇役—グリア細胞—』'